

参加大会名	第40回 関東ミニバスケットボール大会					
主催者団体名	日本バスケットボール協会、千葉県バスケットボール協会、関東大会ミニバスケットボール協会					
期 日	平成31年1月4日 ~ 1月6日					
県登録チーム名称	所沢ライオンズ			性別	女子	
所属地区	西部地区					
貴チームの成績	WXブロック 3位					
相手チームとの ゲーム結果	貴チーム	得点		失点	相手チーム	市・県
	所沢ライオンズ	46	—	32	十王	茨城県
	所沢ライオンズ	57	—	49	ジュニア・ファイブ	千葉県
	所沢ライオンズ	23	—	39	陶鎔	東京都
	所沢ライオンズ	38	—	50	百合台	千葉県
優勝チーム	百合台					
準優勝チーム	陶鎔					
参加しての感想	番号で (1・良い 2・どちらかと言えば良い 3・どちらかと言えば良くない 4・良くない)					
①開閉会式・イベントなどについて					番号 (2)	
②運営について					番号 (1)	
③日程について					番号 (1)	
④審判について					番号 (2)	
⑤主催者団体の連絡調整など					番号 (1)	
その他全体として気付いた点	<p>マンツマンコミッショナーについて：1位リーグの対百合台戦。ハーフマンツで、しかも相手のセンターはうちの1番弱い選手をマークして、ほとんど真ん中にいる百合台に対して、うちはオールコートマンツマンで、1対1に対してドリブルもシュートもパスも積極的にアプローチするディフェンスをしていました。ところが、コミッショナーの方は、うちのチームに赤旗を連発。理由は、3ポイントエリア内のボールマークに対して、マークが1.5m以上離れているからとのこと。選手は、相手に対して、シュートすれば止めに、ドリブルをすればそれを守ろうとディフェンスをし、その選手が自分で攻めないでパスを入れようとするれば、自分の判断で、下がってボールを取ろうとしていました。スリーポイントのラインもないのに、また、1.5m以内という1.5mの距離も、どうしてコートの真ん中で立っているコミッショナーがわかるのか、非常に疑問を感じます。まだ後半、8点差ほどで追いつける可能性もあると思っている中、赤旗2回目で相手のフリースローの2点と、引き続いての攻撃で2点の失点、で合計4点差が開きました。4点を失う原因が、その一生懸命守っている1対1の付き方に、というのがとっても残念に思いました。</p>					